

令和7年度 議会事務局組織目標

組織名	議会事務局	事務局長	坂井 秋樹
組織の目的・方向性	市議会がその役割と責務を十分に果たすことで、市民福祉の向上や市勢の発展に繋がるよう、議会活動を補佐することが議会事務局の役割です。そのために、事務局職員は専門知識の習得やノウハウの蓄積と共有に努め、事務局機能の強化を図ります。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※			

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

議会事務局組織目標

議会事務局では、議会運営を適正かつ円滑に進めることはもとより、「不断の議会改革」や、「市民に信頼され、市民に開かれた議会」の実現に向けた取り組みが着実に推進されるよう、議会活動を支援します。

そのために必要となる事務局職員の資質向上に向け、研修機会の充実に努めるとともに、事務局内の横の連携と意識の共有を図り、風通しのいい職場づくりに取り組むことで、業務上のリスク管理と事務の適正な執行に努めます。

この方針のもと、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 議会活動の適正かつ円滑な運営
- 2 議会の政策形成機能等の充実及び議会改革の推進
- 3 市民に信頼され、市民に開かれた議会の実現に向けた取組
- 4 事務局職員の資質の向上

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
取組結果	・議会活動の円滑な運営に努めるとともに、「新潟市議会ハラスメントの防止等に関する条例」の制定に向けた検討を支援するなど、議会改革や、議会の権能強化に向けた各種の取り組みを着実に進めました。 ・議員が行う「議会報告会」及び「主権者教育推進プログラム」の実施を支援するとともに、動く市政教室の一環として小学生を対象とした「挑戦しよう子ども議会」を開催するなど、市民に開かれた議会の実現に向けた取り組みを行いました。 ・議会活動を下支えする事務局職員の資質向上に向け、専門研修への積極的な参加や、OJT等を通じたノウハウの共有に努めるとともに、事務局内の連携と意識の共有化を図り、組織の一体感の醸成を図りました。				

今後の方向性

- ・ 不断の議会改革、市民に開かれた議会の実現に向け、事務局一丸となって議会活動を支援します。
- ・ 事務局職員の更なる資質向上に取り組むとともに、事務局内の連携と意識の共有を一層図りながら、継続的な事務局機能の強化に努めます。